

ホタルの
自治基本条例メモ

第24話

お問い合わせ
政策調整課（米原庁舎）
☎52-6626 ㊟52-5195

えーっ！僕には届いてなかったよ。

市内に住んでいる18歳以上の3000人を対象に送っているんだ。子どもには送ってないんだよ。

市民意識調査では、どんな意見が寄せられているの？



この間、お父さんが答えていたんだけど、「市民意識調査」ってなあに？

お隣のおばあちゃんも出したって言うっていたわ。

市では、毎年、より良いまちにするためにみんなの声を聞く市民意識調査を行っているんだよ。



市では、そんなみんなの意見を、市民意識調査で聞いて、まちづくりの仕事にかしているんだよ。

わたしたち市民が、まちづくりに関わる方法のひとつになるのね。

よし、僕も大きくなったら、市民意識調査に答えるぞー！



昔、僕たちのまちでも地震や台風で大きな被害があったって聞いたよ。もっと災害に強いまちにしたいかな。

学校の節電に取り組んでいるけど、太陽光発電ももっと広がればいいのになあ。

去年の調査では、災害に強いまちづくりや太陽光発電などの新エネルギー導入が大事だって意見が多かったんだよ。



市民意識調査の結果は、今年の秋頃に、各庁舎や図書館にある「市政情報プラザ」や「市公式ウェブサイト」で見ることができるよ。



政策調整課の職員が、まちづくり団体を訪問。熱意をもって活動されているみなさんの「心意気」をしぼとします。

ニナプロジェクト・ホタルン

- 活動拠点 山東地域を拠点に米原市全域、全国へ発信
- 活動日 年間を通じて
- 会員 37人
- 問い合わせ ☎0749-55-0166
✉brzirb52@zd.ztv.ne.jp
- 代表 田中 眞示

会員募集中です。

企業会員 5,000円 ファミリー会員 3,000円

個人会員 1,000円

カワニナのエサを提供していただく餌会員

今年もホタルは私たちに美しい姿を見せ、たくさんの人の心をひきつけました。「ニナプロジェクト・ホタルン」はそんなホタルの保護活動と、情報発信をするために平成22年に立ち上げられました。この会では、主にホタルの幼虫のエサであるカワニナの養殖や、養殖水路の整備といった活動に取り組まれています。

今年は、山東小学校の3年生が、環境学習としてホタルの観察・研究をされ、この会がプレゼントした10匹のホタルの幼虫のうちの9匹が成虫になりました。これは学術的に見てもすごいことだそうです。他にも市内の小学校で「ほたるのお話会」を開催するなど、積極的に次代を担う子どもたちに向けたメッセージを発信されています。

「ホタルの保護に関わるようになって人生観が変わった。地道な作業も多いが、子どもの頃に親と一緒にホタルを見た思い出があるので、自分の子どもにもずっと見せてあげたい」と代表の田中さん。ホタルはこう



した人々の熱い思いによって大切に守られており、地域の絆・親子の絆を深めるかけがえのない存在であると改めて感じました。

掲載希望はこちらまで

お問い合わせ 政策調整課 市民協働推進室(米原庁舎)
☎52-6626 ㊟52-5195